

青梅市社会教育委員会議7月定例会会議録

平成27年7月21日

201 会議室

出席者 委員 10名

事務局 3名

文化課 1名

1 開 会

【議 長】先日地元の夏祭りがあった。以前は盆踊り大会という事で行っていたが、昨年から夏祭りとなった。盆踊りのほかに、お囃子やフォークダンスなどいろいろな要素があり、従来の盆踊り大会の2倍以上の人が集まった。青梅の中でも盆踊りなどをやめてしまって、夏の催しがなくなってしまった地域もあるが、夏祭りという形に変えて成功したと感じている。

2 報告事項

- (1) 平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会 第1回理事会の開催について (報告資料 1)

ア 日 時 平成27年7月23日(木)午後3時から

イ 場 所 西東京市防災センター6階講座室2

(西東京市役所保谷庁舎敷地内)

ウ 参加者

【事務局】平成27年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会だが、今回は他の会議と重なるため不参加としたい。

【議 長】後日資料のみ各委員に配布する。

- (2) 青梅市社会教育委員会議6月定例会会議録について (報告資料 2)

【事務局】修正点等あれば今月中に事務局まで知らせていただきたい。

- (3) その他

【事務局】その他、配布資料(生涯学習だより、子ども体験塾ロボットワールドのチラシ、国勢調査の調査員募集のお知らせ)について説明。

3 協議事項

- (1) 青梅市図書館運営協議会委員の推薦について

任期満了(平成27年9月30日)に伴う推薦。

ア 任 期 平成27年10月1日

～平成29年9月30日までの2年間

イ 推薦者

【事務局】現在は宇津木議長に委員としてお願いをしているが、9月30日に任期が満了となる。改めて社会教育委員会議から委員を推薦いただきたい。

～宇津木議長の再選で了承～

(2) 第57回全国社会教育研究大会大分大会について

(協議資料 1)

ア 日 時 平成27年10月7日(水)～9日(金)

イ 場 所 ホルトホール大分(大分県大分市)

ウ 参加者

【事務局】今年は大分で全国大会が行われるが、市の予算での参加は見合わせたところである。個人で行きたいという方は事務局に申し出ていただきたい。

(3) 第46回関東甲信越静社会教育研究大会群馬大会について

(協議資料 2)

ア 日 時 平成27年11月5日(木)～6日(金)

イ 場 所 ベイシア文化ホール(群馬県前橋市)

ウ 参加者

【事務局】口頭にて説明、出欠の確認。

【議長】講演会がある1日目の11月5日(木)に参加することとしたい。

(4) 平成27年度青梅市芸術文化奨励賞の基準の見直しについて

(協議資料 3)

【文化課】昨年10月21日に、この社会教育委員会議にて協議いただいた平成26年度芸術文化奨励賞表彰候補者の選定の際に、交付基準の見直しをするようにとの意見が寄せられた。具体的には小中学生が対象の書道の部門において、これまでの基準では受賞者の数が多く、また、同一受賞者が複数回受賞していることもあり、賞の価値が落ちてしまうのではないかというご意見をいただき、今回の見直しになった。

～資料について説明～

交付基準の付則に「第3項により被表彰者になったもののうち、すでに奨励賞を受賞したものについては前受賞時を超える実績を収めていない場合、被表彰候補者としなす。」とあるが、これを厳格に適用する形をとることとしたい。そこで、社会教育委員の皆様の見解をうかがいたい。

【議長】昨年10月の定例会では様々な意見が出て、見直したほうが良いという意見が多く出た。今回の見直しについて意見はあるか。今後は候補者として挙がってくる数が減って会議に出てくることになるのか。

【文化課】この会議で解釈をとらえなおすということをお認めいただければ、文化課で推薦団体に説明をして候補を絞るつもりである。

【議長】前回受賞した方を今回の基準に合わせるとかなり減ることになるか。

【文化課】前回では2名が該当するが、そのうちの1名は3つ最高賞を受賞している。しかも25年に引き続き2年連続で受賞している。そのような優秀な方についてはどうしていくのか判断が難しい。

【議長】賞の格プラス同時に複数受賞したという要素が加わるということ。こういう賞があると励みにはなるが、いろいろな意見もある。

【委員】資料に示されている複数回の受賞者はすべて書道。これは書道に限ったことではないのか。結果として全部書道だったということか。

【文化課】そのとおりである。

【委員】これでは青梅市芸術文化奨励賞という名はあるが、かなり書道に特化した賞になっているのでは。書道は個人が成果を発揮するということだが、今、教育で問題になっているのが、どのように一つのグループを組織して最後まで成果を挙げるように持っていくかということ。そういう意味では、本来、コーラスやオーケストラといったものも、もし青梅市が本当に芸術文化をうたうのであれば、分け隔てなく価値を底上げしていくようにしないとちょっとびつな感じになっているのではないかと思う。対象を最高賞云々というより実際の教育の現場から、グループを組織してみんなを持ち上げていくような活動にもしかるべき賞を与えたほうが青梅市全体の活性化につながると思う。

【委員】以前、音楽で奨励賞を受賞した方がいるが、その方が受賞したコンクールが一覧に載っていないのはなぜか。

【文化課】全国的に高い賞を取った場合、推薦があればそれを受けて協議にかけることとしている。それが毎年あるようなコンクールであれば、基準に載せて目安とするが、情報がない。情報をいただければ、過去何年かの状況を見て一覧に載せていきたい。

【議長】どの分野でも推薦があれば、その都度対象者とするか判断している。推薦があればメジャーな大会でなくても一覧に載っていなくても受賞することはある。

【文化課】社会教育委員会議に推薦する際に、そのコンテストがどういうものなのか、その背景、考査、経路を文化課でも把握して、できるだけ情報は詳しく集めたいと思っている。

【議長】今年の奨励賞の対象期間はいつか。

【文化課】昨年9月2日から今年9月1日となっている。

【議長】コンクールの賞について、同等の賞を複数回受賞した場合対象としないということで進めてもよろしいか。

【委員】同等とするのであれば、主催者ごとにまとめた方が分かりやすいのではないか。

【議長】主催者でくくるということでよいのではないか。

【委員】団体と個人では別に考えてよいのでは。たとえば学校では子供たちが変わっていくので、個人と全く別で考えてよいのでは。

【議長】日本武道館の主催のコンクールが2つあるので、これを1つに扱うということに変えていただければあとはよい。

また秋に委員に対して推薦の依頼があるということによろしいか。

【文化課】 そのとおりである。

【議長】 それでは、社会教育委員会議としてはこの内容で進めていただきたい。

(5) 8月定例会について

【議長】 8月の定例会は例年開催していないが今回も休会でよいか。

【一同】 承認

(6) その他

特になし

4 その他

特になし

次回定例会 平成27年9月15日(火)